

教育計画

（１）教育目標

「地域で育ち、学び、共に生きる」

（２）教育スローガン

「自分らしく周りとかかわろう」

（３）教育方針

児童生徒が、生まれ育った地域で、いろいろな人たちと共に生活をしていくために、一人一人の障がいの状況や能力に応じて、個々のもてる力を高める。

（４）教育の重点

- ①一人一人の教育的ニーズに応じて、個々の可能性を最大限に発揮できる教育的支援をします。
- ②市内の中心部に設立された立地条件を生かし、地域の教育的資源を活用した体験的な学習を実施します。
- ③小学校と敷地を共有する利点を活用した交流活動を進めます。
- ④安心して、学校生活を楽しむことができる環境作りを進め、周りとかかわりの中で児童生徒一人一人の自己表現を促します。
- ⑤心身ともに健やかに学校生活を送るための取組や安全な学校づくりを推進します。
- ⑥一人一人が、自己実現に向けて、能力、特性に応じた主体的な進路選択、進路決定ができる環境を作ります。

（５）各部の教育の重点

①小学部

○基本的生活習慣と社会性を身に付けるために必要な知識、技能、態度の育成

- ・学校生活に見通しをもって、活動することができる。
- ・自分なりの方法を使って、いろいろな人に思いを伝えることができる。
- ・生活リズムを整え、元気に活動することができる。

②中学部

○互いに認め合い社会的自立に必要な知識、技能、態度の育成

- ・自分でできることを増やし、仲間とかかわりながら活動することができる。
- ・地域での活動をとおり、自分の役割を意識して人とかかわりながら活動できる。
- ・健康な心と身体を作り、最後まで活動に取り組むことができる。

③高等部

○豊かで丈夫な心身と希望の実現に必要な知識、技能、態度の育成

- ・丈夫な心身と豊かな個性を育み、もてる力を生かした自己実現を目指す。
- ・自分の思いを適切に表現し、かかわり合いながら自分の力を発揮する。
- ・地域社会の一員として、社会生活・職業生活の自立を目指し、主体的な進路選択ができる。

(6) 教育指導の重点

	重 点
学校経営	地域で育ち、学び、共に生きる学校経営を推進する。 ◎児童生徒が自分らしさを大切にし、地域において周りとかかわりながら生きていけるように、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」に基づき、一人一人の可能性を最大限に発揮できる教育的支援を実践するとともに心身ともに健やかに成長するために安心安全な学校づくりを推進する。 ○学校運営協議会制度を活用し、保護者、地域住民、関係諸機関等と細かく連携を図り、学校経営に関する目標やビジョンを共有し、理解を深めることで教育活動の活性化及び地域に開かれた学校作りを推進する。 ○市内の中心部に設立された立地条件や小学校が隣接する利点などを生かして、保護者や地域、関係機関と積極的に連携を深め、飛騨北部地域のセンター的な役割を活用し特別支援教育を推進する。
研修	教職員の専門的な知識・技術や豊かな教養等、実践的な指導力の向上を目指し、主体的な研修を行い、日々の教育活動の充実を図る。 ◎自己研修テーマ別研修を通して、課題解決のために継続した研修を行う。 ○児童生徒が自ら進んで学習活動に取り組む姿を目指し、環境設定や支援の工夫を押さえた授業実践及び改善を行い、児童生徒の教育的ニーズを大切にしたい授業作りを推進する。
教科指導	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力や自ら学ぶ意欲・態度を育て、学力の向上を図る。 ◎一人一人に応じた指導のねらいと評価の観点を明確にし、きめ細かな指導をする。 ○体験的な学習を通して児童生徒の興味・関心を喚起し、指導方法や題材の工夫改善に努める。 ○教科指導の効果を高めたり、障がいによる学習上又は生活上の困難さを改善・克服したりするために、ICTの活用を推進する。
道徳教育	強く明るく生きようとする意欲と温かい人間関係を育む。 ◎基本的な生活習慣や社会生活上の決まりを習得できるような指導支援に努める。 ○自己を大切にし、他者を思いやり励まし合うなど、心の触れ合いを大切にしたい指導に努める。 ○進んで挨拶したり、自分なりの方法で思いを伝えたりする態度を育てる。
(探究)の時間 総合的な学習	よりよく問題を解決しようとする資質や能力を育てる。 ◎各教科等で身に付けた知識や技能を活かして問題を解決する資質や能力を育てる。 ○地域資源を活用し、体験的・問題解決的な学習活動の充実を図る。 ○自己理解や適性に応じた進路についての考えを深めることで、卒業後の生活に向けての課題を解決する力を育てる。
特別活動	心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 ◎集団活動を通して、自分や友達の良さや可能性を認め伸ばし合うことで、よりよい生活や人間関係を築けるように指導内容や指導方法の工夫、改善に努める。 ○学年や部、全校、地域の学校や人々との交流を積極的に推進し、社会性や豊かな人間性を育てる指導に努める。
自立活動	障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善し、自立を目指す指導を進める。 ◎児童生徒が、障がいによる種々の困難を主体的に改善しようとする意欲を高めることができるよう、指導内容や指導方法の工夫に努める。 ○一人一人の的確な実態把握の下、児童生徒・保護者のニーズを踏まえた校内支援体制の整備、関係機関との連携を図りながら、個別の指導計画を作成し、効果的な指導を推進する。
生徒指導	信頼と愛情を基盤とした児童生徒理解に徹し、自己指導能力を育てる。 ◎共感的理解を基に、発達段階に応じて児童生徒が自ら考え、主体的に行動する力や仲間とのかかわりあいを大切に、豊かな心で積極的に生きていく力の育成に努める。 ○情報化社会に対応できる力として、ICT機器を適切に活用できる力を身に付けるとともに、インターネット等を正しく取り扱うための情報モラル教育を推進する。 ○いじめをさせない・見逃さないための職員研修を実施し、職員の意識を高める。いじめを発見した場合に教職員が組織的に対応できるように校内体制の整備を図る。 ○教育相談に対する教師一人一人の意識を高め、児童生徒が安心して学べる環境整備に努める。
キャリア教育	それぞれの特性や障がいの状態に応じて自己の在り方や生き方を考え、社会的自立・職業自立に向けて必要となる力を育てる。 ◎一人一人が将来の夢や希望の実現を目指し、自己の能力や適性を把握しながら主体的な進路選択ができるよう、個に合わせた支援を行う。 ○周辺地域の企業・事業所との協力・連携により、実習や体験活動を積極的に行い、社会自立・職業自立を目指したキャリア教育の充実を図る。 ○諸機関との連携を深め、情報収集や進路の開拓を図りながら、計画的組織的な進路支援に努める。
健康教育	運動に親しみ、健康で安全に生活を営む意欲や態度を育てる。 ◎児童生徒の健康の保持増進を図り、心豊かな学校生活を送ることができるようにする。 ○教育環境の衛生管理、安全管理を徹底する。 ○児童生徒の安全に対する意識を育み、緊急時の体制を整える。 ○非常変災時の体制を整え、児童生徒の実態に応じた防災教育を進める。